

令和4年度 八戸市立江南小学校 学校経営の方針

校長 笹川 力

I 教育目標（長期目標）

1 教育目標 「強い子になろう」

2 努力目標	自分の頭でよく考える子	みんなと仲良く助け合う子
	じょうぶな体にきたえる子	進んで力いっぱい働く子

II 学校経営の理念

1 理念

日本国憲法、教育基本法、学校教育法等の法律や学習指導要領、県・市の方針を踏まえ、子どもの実態、保護者の願い、地域の信頼をもとに、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を図るために、教職員個々のよさと組織力を生かした教育を推進する。

2 基本姿勢

- (1) 生涯にわたる人間形成の基礎を培う学校づくりをすすめる。
- (2) 危機管理意識をもち、子どもの安全・安心を最優先にする学校づくりをすすめる。
- (3) 組織力を発揮する学校づくりをすすめる。
- (4) 家庭・地域とともに歩む学校づくりをすすめる。

III 学校経営方針

1 めざす学校像

- (1) 信頼される学校
 - ・子どもの命を最優先にする学校。
 - ・保護者の願いに寄り添った学校。
- (2) 笑顔があふれる学校
 - ・行事に本気で取り組む学校。
 - ・個性を認め合える学校。

2 めざす子ども像

- (1) 人の気持ちを考えられる子ども
 - ・あいさつ、返事がきちんとできる子ども。
 - ・目の前の「あたりまえ」に想像力を働かせる子ども。
- (2) 学習に誠実に向き合う子ども
 - ・意味を考えながら学習する子ども。
 - ・手を動かすことを惜しまない子ども。

3 めざす教職員像

- (1) 子どもを大切にする教職員
 - ・子どもの個性を肯定的にとらえることができる教職員。
 - ・子どもへの声かけを大切にする教職員。
- (2) プロ意識をもった教職員
 - ・授業で勝負する教職員。
 - ・高い識見をもった教職員。

IV 学校目標（短期目標）

1 学校目標

主体的に行動する子どもの育成 ～自分の頭で考え、進んで行動する江南っ子～

2 重点施策

- (1) 問題解決的な学習を軸とした授業の充実。
 - ①校内研修の充実。（校内研究の日常化の促進）
 - ②キャリア教育と関連させた体験的な学習の充実。
 - ③家庭学習（「こうなんスタンダード」）習慣の定着と自主学習の推進。
- (2) 子ども同士の関わりを大事にした特別活動。
 - ①なかよし班活動の充実。（なかよし記録会、ウォークラリー、クリーン作戦）
 - ②児童から出たアイデアを生かした、係活動・委員会活動。
 - ③児童の実態把握といじめの未然防止。（毎月のアンケートの実施）
- (3) 一人一人を大切にした学校生活。
 - ①特別支援教育の視点を生かした教室環境づくりと授業づくり（授業の「見える化」「焦点化」「共有化」）
 - ②気になる子どもに対する全教職員での情報共有と早期対応並びに組織的な指導。（「のびゆくおおいちょう」の時間の確保）
 - ③子ども一人一人のつまずきに応じたていねいな個別指導。

3 学校目標の達成のために

- (1) すべての学級でなされること
- (2) 子どもたちの変容として表れること
- (3) 教職員の手応えとして残ること